

京都セルバンテス懇話会第21回全国大会

ムセイオン静岡・静岡県立大学国際関係学研究所広域ヨーロッパ研究センター共催

2019年7月20日 於：静岡県立大学国際関係学部棟

プログラム

第1部 12時45分～17時35分

12時45分～13時 開会あいさつ 国際関係学部棟 (3108 講義室)

立田洋司 (静岡県立大学名誉教授・ムセイオン静岡顧問)

片倉充造 (京都セルバンテス懇話会代表・天理大学教授)

13時～14時15分 Mini-Mesa (国際関係学部棟 3106 講義室)

「生誕120年ボルヘス再読」コーディネーター：水戸博之 (名古屋大学教授)

- 1) 「ボルヘスの著書に見る文学者としてのメネンデス・ペラーヨ」 関 智彦 (名古屋大学人文学研究科博士後期課程)
- 2) 『『カリガリ博士』『対極』『トレーン、ウクバル、オルヴィス・テルティウス』—中心の喪失と新しい世界の創造—』 宮下克子 (名古屋大学講師)
- 3) 「まとめにかえて：序文集を通じたボルヘス追体験の試み」 水戸博之

13時～13時30分 研究発表1. (国際関係学部棟 3107 講義室)

コメンテーター：J.ロペス (天理大学専任講師)

「サルバドル・デ・マダリアガ *Espanoles de mi tiempo* (1974年)におけるスペイン第二共和制の外交活動 —国際連盟との関係を中心に—」 安田圭史 (龍谷大学准教授)

13時30分～14時00分 研究発表2. (国際関係学部棟 3107 講義室) コメンテーター：同上

「ガリシアにおける『二重のアイデンティティ』の形成と変化」 大木雅志 (元ガリシア国際研究所研究員)

14時15分～14時45分 研究発表3. (国際関係学部棟 3107 講義室)

「セルバンテスの戯曲は何故上演されなかったのか—『嫉妬の館とアルデニアの森』を例に—」 高橋博幸 (立命館大学特任教授)

14時45分～14時55分 休憩

14時55分～15時55分 Mesa (国際関係学部棟 3108 講義室)

「スペインにおける日本文化の受容」 坂東省次 (京都外国語大学名誉教授)、ダニエル・アギラル (映画史研究家)、森 直香 (静岡県立大学専任講師)

15時55分～16時05分 休憩

16時05分～16時35分 静岡県立大学・学生プロジェクト『羽衣』(国際関係学部棟 3108 講義室)

鈴木さやか (静岡県立大学専任講師)、静岡県立大学「羽衣つたえ隊」

16時35分～17時35分 記念講演 (国際関係学部棟 3108 講義室) 角田哲康 (日本大学教授)

「サラマンカから広がるスペイン精神文化 —ウナムーノと日本—」

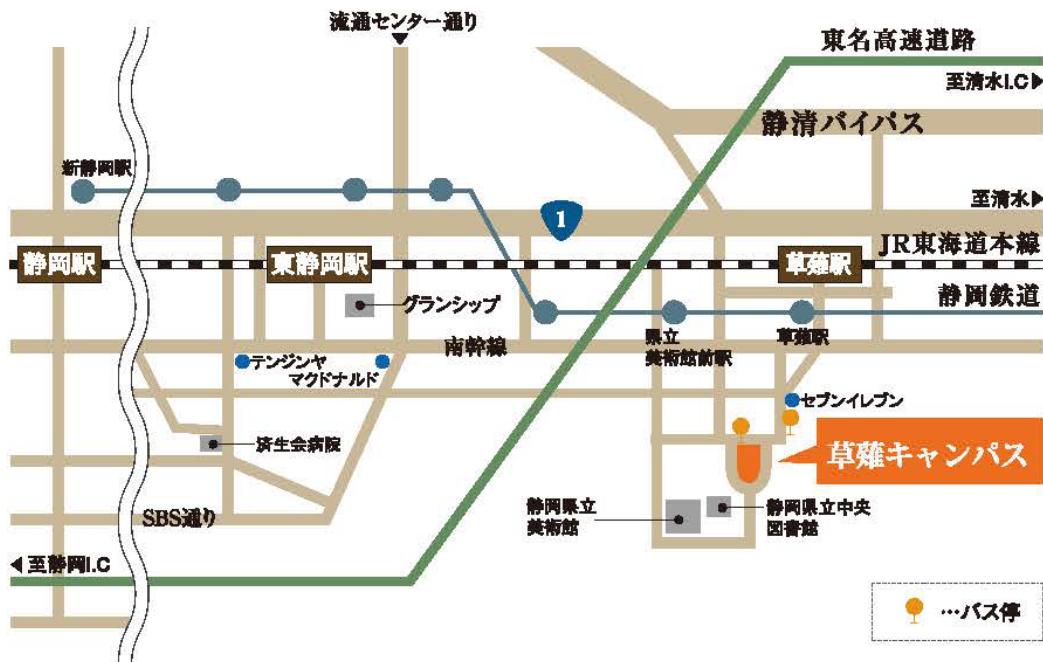
17時35分 閉会の辞 (国際関係学部棟 3108 講義室) 坂東省次 (京都外国語大学名誉教授)

第2部 18時～20時 懇親会

会場 草薙 茄兵衛 (大学から専用バスで移動)

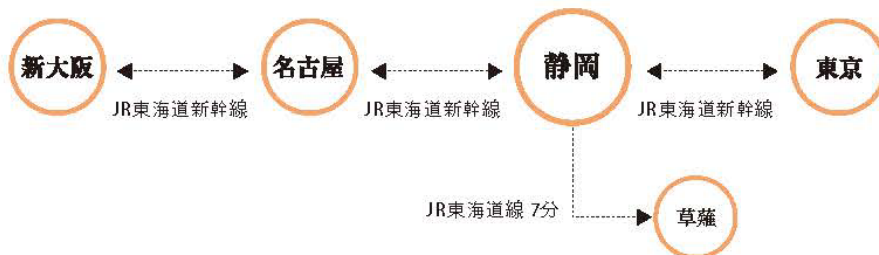
*会費5000円。参加をご希望の方は7月12日(金)までに森 (naokamori@u-shizuoka-ken.ac.jp) までご連絡をお願いいたします。

この大会は静岡県立大学・令和元年度教員特別研究推進費(集会助成)の助成を受けています。



● 静岡までのアクセス

- 東京から：東京→静岡 約1時間
- 名古屋から：名古屋→静岡 約1時間
- 大阪から：新大阪→静岡 約2時間
- (いずれも「新幹線ひかり号」を使用した場合)



● 最寄り駅から草薙キャンパスへのアクセス

【草薙キャンパス】

徒歩

JR「草薙駅」南口(県大・美術館口)、または静岡鉄道「県立美術館前駅」静岡鉄道「草薙駅」から徒歩15分

バス

静鉄バス
JR「草薙駅」南口(県大・美術館口)バス停から草薙団地行き(三保草薙線)で「県立大学入口」下車、徒歩5分 *平日の午前のみ、「県立大学前」下車が可能(下車0分)



〒422-8526 静岡県静岡市駿河区谷田52-1 (草薙キャンパス)

TEL 054-264-5102 (代表) 054-264-5007 (学生部入試室)

<https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/>